



アクテノン

NO. 111

名古屋市演劇練習館機関紙

エッセイ

「アクテノンと僕と」



二宮信也

(俳優
星の女子さん/
スクイーズ 所属)

まさか僕がこのエッセイを書くことになるなんて思ってもいなかったのだけど、これも何かの巡り合わせかな。少しアクテノンと僕のことを振り返ってみようと思うのです。

正式名称「名古屋市演劇練習館」名古屋の西のはずれに忽然と現れる白くて巨大な建物、通称「アクテノン」には1995年の開館以来ずっとお世話になっている。

開館当時若かりし頃の僕はアクテノンに行くたび、まだふんだんに水が吹き出していた噴水や、ライトアップされた白い建物を見ては妙に緊張していた覚えがある。「都会的で幻想的な雰囲気」による緊張だったのか、稽古に挑む前の緊張だったのか。普通に考えれば後者なのだろうけど、思い返してみるとどうにも前者だったような気がしてならない。地方出身の僕にはそれほど当時の美しいイメージが脳裏に焼き付いている。

ガラスの自動ドアを入ると先輩からの教えを守り受付さんに挨拶。受付横の壁にはその日利用されている団体の名前が書かれていて、それを見ては「今日あの劇団いるじゃんか!」とか「ここ、前に先輩が



「私立探偵西郷九郎と九人の女」
星の女子さん⑭
'19年4月11日～29日
円頓寺レピリエ

勧めてくれたトコだ!」などと思いつつロビーでチラシ漁りなどして練習室に向かうのだった。そうそう、これはアクテノンが同時にたくさんの団体

が利用できる施設だからこそなんだよね。10団体くらい同時に使えるもの。他の地域ってどうなんだろう。めずらしいのかな。

当時は喫煙や飲食のルールも今と違い館内に喫煙スペースなんかもあったりして。そこで他劇団の方に自公演の宣伝したり、逆にされたり、客演依頼なんかもされたな。まだ客演なんて慣れてなかったからあたふたした思い出がある。舞台上でしか見たことのなかった俳優さんを紹介していただいて喋ったり。あのスペースでは、芝居の事、芝居の裏の事、芝居とは全然関係ない事、いろいろと勉強させてもらった。たのしい場所だった。

話は戻りまして、アクテノン開館前の稽古場探しはなかなか大変で、学生の際は大学のひと気のないロビーやペランダを



「ヤングレ」星の女子さんRE⑯
'21年4月16日～18日
七ツ寺共同スタジオ

こっそり使ったり、少々知恵が付き人脈ができたりするとアトリエ持ちの劇団さんに場所をお借りしたり、以前各区にあった「青年の家」の取れる部屋を片っ端から確保し稽古期間を埋めていったりした。稽古場渡り鳥である。だからアクテノンができて「まず稽古場はアクテノン!」と思えるようになってどれだけありがたかったか。そう思うのはあの時代の小劇場劇団、特に若手劇団の人間には少なくないと思う。

さて、1995年開館のアクテノンと書きましたが、つまり26年経ってるんだよね。僕らの知らない苦労もたくさんあったと思うのですが、是非これからも30年50年と続いて行ってほしい。僕の芝居の根っこを育ててくれたアクテノン。これまでの感謝と恩返しの意味を込めつつ、これからもっとおもしろい作品を作っていきます。

そして、これからも、よろしくお願ひしますね。

トピックス

「ミュージカル『パリカッシュ』に」



荒川 裕介 (AMミュージカル代表)

我々が舞台を行うのは『舞台が大好きだから』『この舞台を仕事にしていきたいから』と2つの理由があります。

この気持ちはコロナウイルスがまん延し始める前も今も変わりません。

そして、僕らがやる事も以前と変わらないと思っていて、『お客様に来て良かったと思ってもらえる舞台を創る事』が僕らのする事で、それが仕事としての務めだと思っています。

その為にしなければいけない事の一つとして【コロナ対策】というものが増えただけ。安直かもしれませんが、そう考えるようにしています。

じゃあ、その為にどんな対策をしてきたのか。

毎日の検温・手指消毒・換気・食事の禁止・部屋を2つに分ける・稽古中にマスクを外さないなど一般的な事に加えて、稽古場

に入る時に全員にマスク(不織布)を新しい物に変えて稽古をしてもらっていました。

マスクは新しいものを常に準備して、いつでも変えられるようにしていました。

我々はオーディションで出演者を募っているのですが、様々な仕事場から集まってくる為、制限を必要以上にかける事は難しかったです。

リスクはつきものだし、緊急事態宣言などが出たら公演中止になったり赤字になったりするかもしれません。そうなったら借金して働いてなんとか返していこうと思います。笑

どんな事があっても観に来てくださるお客様が一番。最高の舞台を創る。

僕らが公演をやめたら生の舞台はなくなる。そんな勝手な使命感でこれからもどんな困難があろうと舞台を創り続けていこうと思っています。



AMミュージカル
ミュージカル『パリカッシュ』
'21年8月20日(金)~22日(日)
昭和文化的劇場にて上演予定

アクテノン・シャワー

寺子屋アクテノン

「親子 DE 楽しむ物づくり」動画配信中!

おうち時間を過ごす子どもたちへ!おうちで動画を見ながら、物づくりをしませんか。チャレンジする内容はバルーン・紙ねんど・ロケットです。簡単な作り方を動画で紹介しています。ワクワク楽しく作りましょう。ぜひご視聴ください。

動画配信 SMILE×SMILE NAGOYA

[名古屋市文化振興事業団公式チャンネル]

アクテノン 動画

検索



紙ねんど



バルーン



ロケット



公演のご案内

★アクテノンの利用団体の公演をご案内します。

①会場 ②日時 ③料金 ④問合せ先

※新型コロナウイルス感染拡大防止等の為、公演が変更になる場合があります。

※詳細は劇団へお尋ね下さい。

Theater BamBoo
The 8th Original Musical
『ON THE STAGE』

①名古屋市芸術創造センター

②2021年11月6日(土) 18時開演、2021年11月7日(日) 13時30分開演

③1階席2500円、2階席1500円

④☎090-1826-2069 (竹内) t.bamboo.mtc2014@gmail.com

今回の作品は、「舞台」を舞台とした、バックステージストーリー。ぜひ観に来てください。



編集発行/令和3年8月25日(年4回)

名古屋市長 名古屋市文化振興事業団 [演劇練習館 [アクテノン]]

〒453-0841 名古屋市中村区稲葉地町1-47

TEL 052-413-6631 FAX 052-413-6632

※この印刷物は、古紙パルプを含む再生紙を使用しています。



「友の会」会員募集中!
http://www.bunka758.or.jp/

施設からの
情報をご
覧いただけ
ます!

